

取付・取扱説明書

この度は、当社商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
末永くご愛用いただくために、この取付取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお取扱いください。
この取付取扱説明書は大切に保管してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

■絵記号の意味

	禁止	この記号は禁止の行為を告げるものです。指示内容をよく読み禁止されている事項は絶対に行わないでください。
	厳守	この記号は必ず行なっていただきたい行為を告げるものです。指示内容をよく読み必ず実施してください。
	注意	この記号は注意(警告を含む)を促す内容を告げるものです。指示内容をよく読み取扱いに注意してください。

警告

	禁止	<ul style="list-style-type: none">● 本来の用途以外では使用しないでください。● むやみに改造・変更をしないでください。● 製品の耐荷重はグレーチング300kg、タイルトレイ150kgです。指定範囲以上の荷重がかかる場所では使用しないでください。ケガや事故の原因となります。
--	----	--

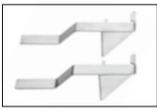
注意

	厳守	<ul style="list-style-type: none">● 製品は壁に立てかけず、床の上に置いてください。倒れてケガの原因になります。● 取付時には必ず手袋を着用してください。● モルタルなどが付着した時は、早めに拭き取ってください。
	注意	<ul style="list-style-type: none">● 製品の上に重たいものを落とさないでください。変形する恐れがあります。● 製品の上で飛びはねないでください。変形する恐れがあります。● 施工時や移動時など手を挟まないようご注意ください。● 製品を破棄される場合はお住まいの地域の取り決めに基じた処理をお願いします。● 塗装商品に関しては、ステンレスに焼付塗装を施しておりますので、屋外での使用には耐えますが、摩擦や引っ掻きなどにより塗装面が傷つくことがあります。また、環境条件により変色・シミ・サビ・塗装剥がれ等が生じることがあります。

施工上のご注意

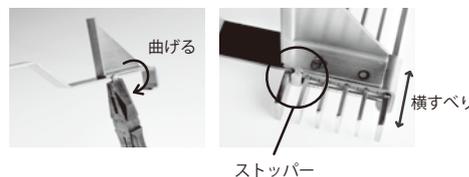
- **商品に傷をつけないようご注意ください。**
お客様が取付中に破損された商品につきましては、商品の取り替え等の措置は出来かねますのでご了承ください。
- **不安定な場所に設置しないでください。**
商品が落下した場合にケガをする可能性のある高所には設置しないでください。
- **ステンレスの切断面に充分ご注意ください。**
安全に配慮し処理を施しておりますが、ケガをする場合があります。取付時には必ず手袋を着用ください。
- **ご使用環境にご注意ください。**
ステンレスは錆に強い金属ですが、絶対に錆びない素材ではありません。特に塩害環境の厳しい地域では錆びやすくなります。ご了承ください。

セット内容

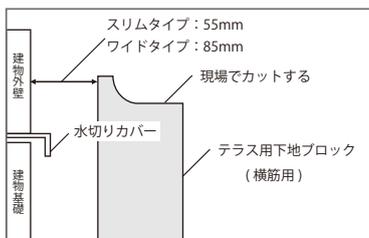
本体 グレーチング 	又は	付属品 タイルトレイ 	+	付属品 受け金具 2個セット 
--	----	---	---	---

付属品について

サイドのパーツを折り曲げると、グレーチングの横すべりのストッパーになります。

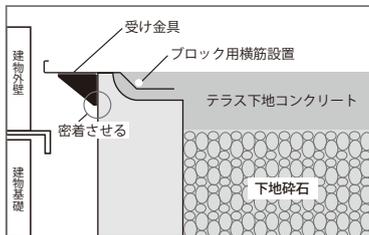
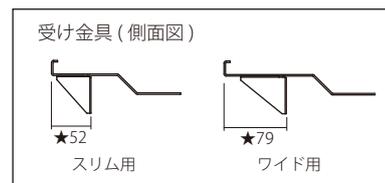


施工手順



Step1: テラス用下地ブロック作成

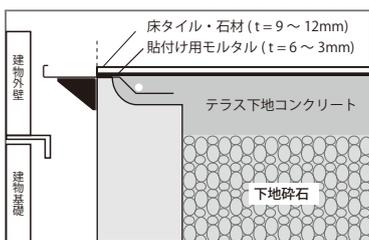
テラス用下地ブロックを建物外壁からワイドタイプ 85mm (本体 79mm + クリアランス 6mm) スリムタイプ 55mm (本体 52mm + クリアランス 3mm) 離して積みます。外壁又はサッシ枠などの突出部とのクリアランス (間隔) は現場の状況に合わせて調整してください。受け金具の詳細は右図の寸法図 (★) をご参照ください。



Step2: 下地土間打設 (受け金具の固定)

上部内側の立ち上がりを欠いて、受け金具をブロック立上がり面に密着させて設置します。団子状にしたモルタル等で仮固定します。テラスの下地土間コンクリートを打設し、受け金具を本固定します。

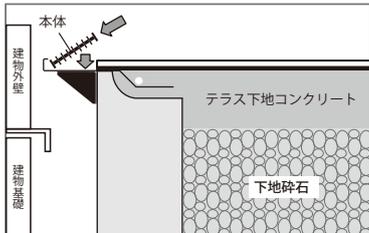
△受け金具の三角形プレートが下地ブロックと離れるとたわみの原因となりますのでご注意ください。



Step3: 床の仕上げ、下地土間打設 (受け金具の固定)

タイル天面とグレーチングの厚さ (15mm) が面一になるように下地モルタルの厚さを調節してください。

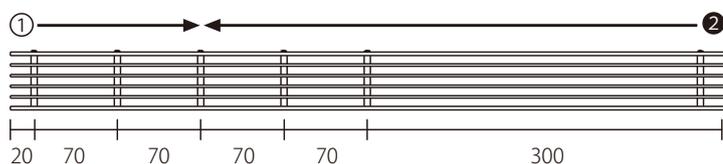
※タイルを貼る際、グレーチング本体を仮置きして、施工後グレーチングの脱着が可能であることをご確認ください。



Step4: 本体の設置

最後に受け金具に本体をセットしてください。受け金具の先端に折り返しが付いているので、先端を滑り込ませるようセットするとスムーズに取り付けられます。

グレーチングカットタイプ (現場加工) カット方法



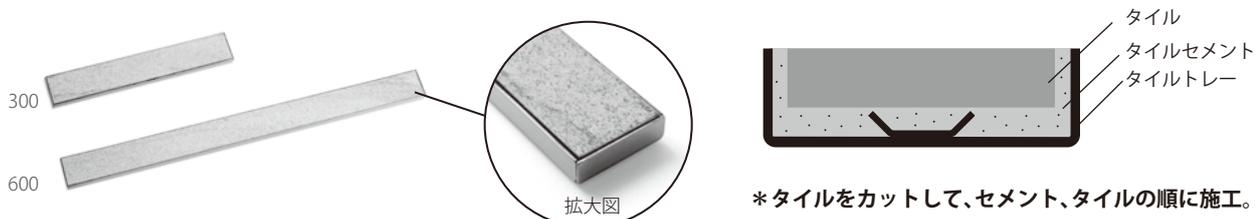
① 使用寸法が 300 未満の場合

リブが多い方 (図面左側) から計測し切断してください。

② 使用寸法が 300mm 以上の場合

リブが少ない方 (図面右側) から計測し切断してください。

タイルトレイ 使用イメージ



お手入れ方法

- 付着した汚れは、柔らかい布で水拭きをした後、柔らかい乾いた布で水分を十分に拭き取ってください。拭き取る際は、製品の目に沿って拭いてください。キズの原因になります。
- 汚れが目立つ際は、水で薄めた中性洗剤で拭き、充分に水拭きを行なってください。
- 定期的な水で洗い流す事をおすすめします。錆発生防止にもなります。
- 海水などの塩分を含んだものが付着した際は、水で洗い流し、十分に拭き取ってください。

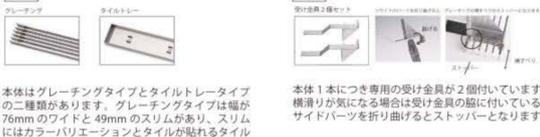


- 汚れを取るために、研磨剤入りのクレンザー等は、本体表面に傷をつける恐れがあるため使用しないでください。
- シンナー、ベンジン、ワックス、石油、塩素系溶剤等は本体塗装を剥がす恐れがあるため使用しないでください。
- 殺虫剤、ガラスクリーナー、ヘアスプレーなどをかけないでください。

様々な現場の状況にもスッキリ対応

■ バリエーションと付属品

商品のバリエーションと寸法・カラーバリエーションの組み合わせをご確認下さい。



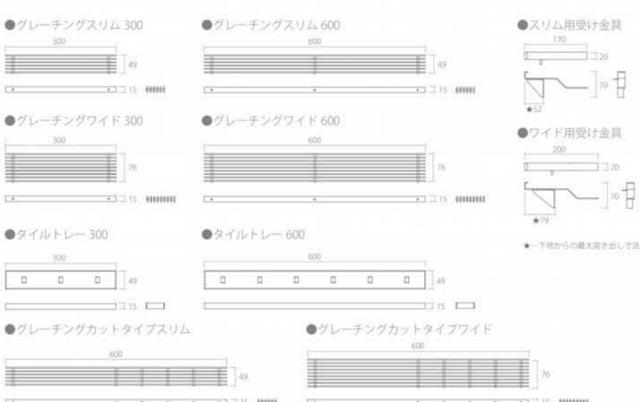
本体はグレーチングタイプとタイルトレイタイプの二種類があります。グレーチングタイプは幅が76mmのワイドと49mmのスリムがあり、スリムにはカラーバリエーションとタイルが貼れるタイルトレイがあります。

本体1本につき専用の受け金具が2個付いています。横滑りが気になる場合は受け金具の脇に付いているサイドパーツを折り曲げるとストッパーとなります。

形状	幅	長さ	カラーバリエーション
グレーチングタイプ	ワイド D76	L600 L300 L600 現場加工用 オーダー L300-600	シルバーのみ
	スリム D49	L600 L300 L600 現場加工用 オーダー L300-600	シルバー オフホワイト ダークグレー
タイルトレイタイプ	スリム D49のみ	L600 L300 オーダー L300-600	シルバーのみ

■ 基本寸法について

グレーチングの基本寸法です。(クリックすると拡大されます)



■ 現場加工用と特注オーダーについて

開口寸法の調整が必要な場合は現場でカットできる現場加工用か、指定したサイズで出荷する特注オーダーをお使いください。

現場加工タイプは現場で切り詰めが出来るようリブ(補強材)が入っています。本体は600mmですので使用する長さに応じてリブが多い方、又は少ない方から計測して切断してください。



現場にて加工が出来ない場合は、指定して頂いた寸法にて工場で製造しお届けすることも可能です。長さは300mm~600mmの範囲となりますので、300mm以下が必要な場合は他の600mmを300mmにして頂きオーダーサイズが300mm以上による調整して下さい。



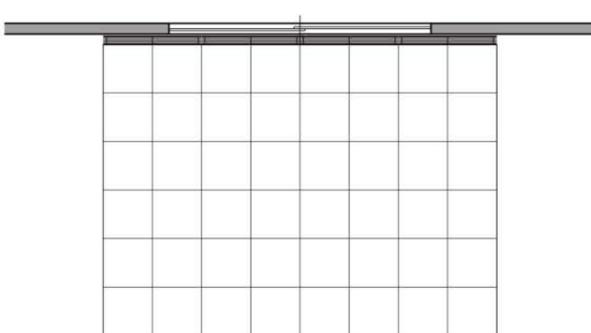
■ 設計マニュアル

グレーチングの設計に役立つ情報を掲載しております。

基本納まりについて

【ケース1】 サッシ枠が外壁から出ない場合

グレーチング設置範囲に窓枠やエアコンの配管などがある場合はワイドタイプ、それらの障害物がない場合はスリムタイプで計画します。テラスの開口寸法が300mmの倍数であれば600と300の標準品で綺麗に収めることができます。



【ケース2】 サッシ枠が外壁から出ている場合(その1)

テラス床面がサッシ枠の下に入る場合はサッシと重複する部分はグレーチングを設置せずサッシの両側のみ設置します。両側の設置範囲の寸法が300mmの倍数にならない場合は標準サイズのグレーチングを横から滑りこませれば現場で長さ加工する必要はありません。



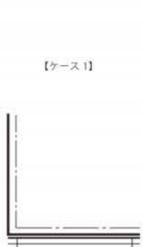
【ケース3】 サッシ枠が外壁から出ている場合(その2)

テラス床面がサッシ枠と同レベルになる場合はサッシの前とその他の部分をずらしてグレーチングを設置します。サッシの開口寸法及び両側の寸法が300mmの倍数でない場合は現場加工用のタイプかオーダーサイズを1本入れて調整します。



端部の取まりについて

【ケース1】



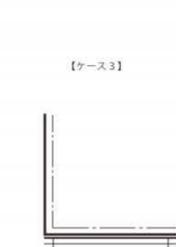
建物出隅角とテラスを揃える場合は必要に応じて現場加工用又は特注オーダーでグレーチングの長さを調整して下さい。

【ケース2】



建物出隅角の手前でテラスを止める場合はグレーチングの寸法を基準に割付をして頂ければ綺麗に収まります。

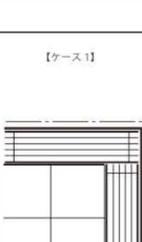
【ケース3】



建物出隅角の先でテラスを止める場合はグレーチングは建物外壁面まで設置してその先に付ける必要はありません。

入隅の取まりについて

【ケース1】



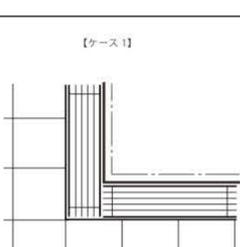
【ケース2】



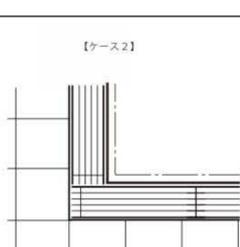
建物入隅部分はグレーチングをL型に突き合わせます。

出隅の取まりについて

【ケース1】



【ケース2】



建物出隅部分はグレーチングをL型に突き合わせます。

Terrace edge

商品バリエーションはこちら



Terrace edge

施工に関する情報はこちら



Terrace edge

テラスエッジトップページ



Explaining

エクスプランニングはこちら

